

未染標本作製手順

(原則としてブロックでの貸し出しにご協力をお願いします)

1. 準備

1) FFPE ブロック；以下の①～③の条件をみたすもの

- ① 3年以内に作製されたもの（※3年以上経過した検体は検査不能の可能性が高くなります。）
- ② 腫瘍細胞占有率が20%以上のもの
- ③ 放射線未照射部位組織であること

2) スライドガラス；ノンコーティングガラス 12枚

※ウォーターバスの水・ミクロトームの刃は新しいものに交換して下さい。

2. 未染色 FFPE 切片および標本の作製

下記の方法で、作製して下さい。

始めに3~4 μ m厚1枚 →次に5 μ m厚10枚 →最後に3~4 μ m厚1枚 の切片を作製。

P2018-0123 ①	P2018-0123 ②	P2018-0123 ③	P2018-0123 ④	P2018-0123 ⑤	P2018-0123 ⑥	P2018-0123 ⑦	P2018-0123 ⑧	P2018-0123 ⑨	P2018-0123 ⑩	P2018-0123 ⑪	P2018-0123 ⑫
3~4 μ m (HE用)	5 μ m	5 μ m	5 μ m	5 μ m	5 μ m	5 μ m	5 μ m	5 μ m	5 μ m	5 μ m	3~4 μ m (HE用)
(遺 伝 子 検 査 用)											

スライドガラスのフロスト部分には、自施設の検体番号と薄切した切片の順番①～⑫を必ず記載して下さい。

↓

薄切した順番とフロスト部分の番号が一致するようにガラスに切片をのせて下さい。

↓

伸展器にて切片を貼り付けた後、②～⑩のガラスは自然乾燥して下さい

加熱乾燥は厳禁。加熱乾燥後の検体は検査に使用できません。

* 遺伝子検査には、最低でも4mm×4mmの組織が必要となります。これに満たない場合は、追加で未染標本スライドの作製をお願い致します。

※なお標本スライドは、1枚のガラスに1枚切片をのせて下さい。

* 過去に受けた放射線治療の照射範囲に含まれていた組織の標本は検査に使用できません。

上記手順に則らない標本による検査の遅延・中止につきましては当院では責任を負いかねます。